

KUMAMOTO



GREEN Rotary-Club

2012-2013年度 テーマ

国際ロータリー

「奉仕を通じて平和を」

R.I. 会長 田中 作次

地区方針

「心をひとつに」

R.I.2720 地区 ガバナー 岡村 泰岳

熊本グリーンR.C.

「絆を深めよう」

熊本グリーンR.C. 会長 山下 佳介



■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：山下 佳介 ■幹事：本田 悟士 ■会報担当：江上 泰弘
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@io.ocn.ne.jp

国際ロータリー 第2720地区 **熊本グリーンロータリー・クラブ週報**

【2013年5月20日】

第1088回

2012-2013年度 第36回

【例会】

1.開会・点鐘 18:30

君が代(第一週目)

「我等の生業」 (ロータリーソング)

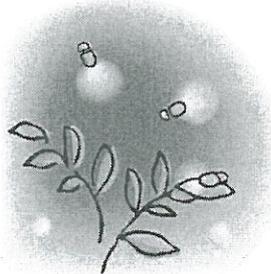
2.食事と交歓

来訪者紹介

来訪者なし

友情の握手

会長スピーチ 山下 佳介 会長



我がクラブで現在支援しております県テコンドー協会が、先日の17日、11の国と地域の団体が加盟している「東アジアテコンドー連盟」に加盟されました。夜には連盟使節団の歓迎会が市内のホテルで開催され、その中で樋口会長は「東アジアは政治的にぎくしゃくしている面もあるが、テコンドーを通じて互いに理解し合える関係をつくりたい」と話されました。今年2月の全日本選手権大会でも、熊本の選手が優勝1人、準優勝が3人と、好成績を収められました。今後益々のご活躍をお祈りしたいと思います。

先週は大阪に行き、私の会社で年1回開催される総会と研修会・懇親会に参加してきました。8年前に独立して、最初は80名程度だった人数も300名までになり、マスコミ、30社あま

りの保険会社からの参加も約100名あり、盛大に開催されるまでになってきました。その研修会では、元プロ野球選手で現在プロ野球解説者の金村義明氏の講演があり、現役時代の華やかな生活から現役引退で非常に苦労した話などを、面白可笑しく話されました。その苦境を救ったのは自分のプラス思考と乙武氏の「五体不満足」の本との出会いだと話されたのが、印象的でした。

それでは最後に言霊の紹介をします。本日は「悲劇と喜劇」です。

「人生はクローズアップして見ると悲劇だが、引いて見ると喜劇である。」物事を深刻に考えてしまっている時は悲劇を演じがちです。そして悲劇を演じること自分で酔ってしまったりします。そうすると悪循環のスパイラルに陥って、ザ・悲劇にしかありません。視野がとても狭くなってしまっているのです。クローズアップし過ぎているのです。だから少し引いて見てみましょう。こんな時は無理やりにでも笑ってみると、喜劇に切り替わっていくものです。

幹事報告 河島 一夫 副幹事

■ 報告事項(その他のロータリー関係)
地区プライダル推進委員会より本年度最後の「プライダルパーティー」のお知らせ
日時:2013年6月15日(土) 受付18:30
開宴19:00～21:00
場所:熊本ホテルキャッスル 1F「九曜杏」
会費:4,000円

卓話
予定

- 5/27 「ホテル鑑賞例会」 ★ 例会場所変更
・例会場所「亭の元」 ・ホテル鑑賞場所「瑞巖寺公園」
- 6/3 「熊本グリーンローターアクト活動報告」
★熊本グリーンローターアクトとの合同例会
- 6/24 「次年度第2回クラブ協議会」

【熊本グリーンR.C.ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及ばません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

内容:独身の男女で、結婚をしたい知人、友人がい
らっしゃったら是非ご案内下さい。但し、人物、身
分保障の為にロータリアンの推薦が必要となっ
てます。地区ブライダル推進委員会が発足し2年間
の成果は1組はご成婚、あと2組は婚約までいっ
ているそうです。

■ 例会取止め・変更

<変更>

【熊本りんどうRC】

5月23日(木)の例会を、「夜例会」の為、同日19:00
より「もりまさ」にて行います。

【熊本西稜RC】

6月10日(月)の例会を、「歳祝い会」の為、同日
18:30より日本料理「おく村」にて行います。

【熊本江南RC】

6月12日の例会を「歳祝い会」の為、同日18:30より
「マリーグレイス」にて行います。

<取止め>

下記の例会は、定款第6条第1節に基づき、例会を
取りやめます。

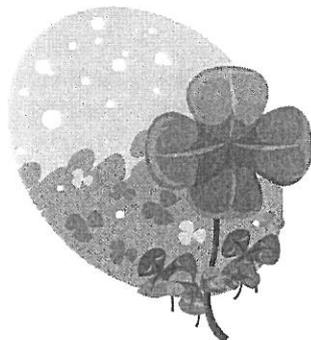
【熊本江南RC】 6月26日(水)

出席報告

松山 優喜
クラブ管理運営委員 (出席担当長)



	会員総数	25名	出席率
5月20日	出席免除会員数	1名	66.67%
	計算上会員数	24名	
	出席会員数	16名	
5月6日	前回の出席会員数		休会
	メイクアップ数		
	修正出席会員数		
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			



委員会報告

① 「ロータリーの友」5月号の内容紹介
報告者:クラブ広報委員長 中島 光司 会員

②「ホテル鑑賞例会」について

報告者: 奉仕プロジェクト委員長 松村 秀逸 会員

3年間取り組んで来ました、西里校区の「ホテル育
成保護」が今年で最終年度となります。つきまし
ては「ホテル鑑賞例会」も今回が最後となるかと
思われますので、会員及び御家族お誘い合わせ
の上多数の参加をお待ち致しております。

日時5月27日(月)18:30~例会(於:亭の元)
※例会後「瑞巖寺公園」の方へ移動して「ホテル鑑
賞」を行います。

料金:大人 1,000円/小人 無料

③(「さつまいもの植え付け」

報告者:農業委員会 松村 秀逸 会員

先日の日曜日にサツマイモの植え付けを行う予
定でしたが、あいにくの雨で延期となりました。も
う苗は準備してますので、早々に植え付けをしな
いといけないので、平日ではありますが、今週水
曜日(5/22)早朝8時より、植え付けを行います。
お時間がある方はご協力の程をお願い致します。

スマイル

山下 隆生 クラブ管理運営委員



● 山下 佳介 君、河島 一夫 君
「本日の十時会員の卓話を大変楽しみにしていま
す。」

● 松山 優喜 君
「本日の十時会員の卓話を楽しみにしております。
いつまでもお元気な、十時会員の健康にスマイル
します。」

● 山下 隆生 君
「先日は、次年度理事委員長の家庭集会を行いま
した。いよいよ次年度の活動が始まったという思
いです。皆さん暖かく見守って下さい。」

● 上田 観一 君
①「十時会員の卓話楽しみにしていました。いつま
でも頑張ってください。」

②「先日、中島七光展を見に行き、感激した写真が
沢山ありました。ご案内いただきありがとうございました。」

● 中島 光司 君

- ①「十時会員の卓話楽しみにしております。」
- ②「今日は私の母の命日で、お墓参りに行って来ました。」
- ③「5/17にと茨城健の霞ヶ浦カントリーでゴルフをやりました。光栄にも“王貞治と仲間たち”のゴルフコンペに参加しました。巨人軍のOB選手や有名人がたくさんでビックルしました。福島県の震災復興にコンペより50万円の寄付がされました。」

● 趙 健次 君、田中 純司 君、十時義七郎 君
「本日の卓話者十時会員にスマイルします。」

● 十時義七郎 君
「本日の卓話お願いします。」

3. 例会プログラム

卓話者:十時 義七郎 会員

演題: 「私の履歴書」



卓話者 十時会員



小学校の際、学童相撲大会で
優勝した時の写真



幻の熊本総合大学設立委員会のメンバー

4. 閉会、点鐘

重点分野

重点分野に沿ったグローバル補助金活動を立案するために

パッケージ・グラントとグローバル補助金は、ロータリーの6つの重点分野において、持続可能で大きな影響をもたらす国際的活動を支援するものです。ロータリーの戦略パートナーと協力して活動を行うパッケージ・グラントでは、重点分野が既に設定されていますが、グローバル補助金の場合は、どの重点分野(以下を参照)にに取り組むかを決定する必要があります。

平和と紛争予防/紛争解決

疾病予防と治療

水と衛生

母子の健康

基本的教育と識字率向上

経済と地域社会の発展

クラブや地区がグローバル補助金を申請する前に、プロジェクトの重点分野を特定してください。地域社会のニーズに確実に応えるために、事前にニーズ調査を実施しましょう。この調査結果を基に、プロジェクトで取り組む重点分野を決定することができます。

グローバル補助金ではさらに、重点分野ごとの受領資格が定められています。詳しくは、「重点分野:目的と目標」をご参照ください。

ロータリーの6つの重点分野を紹介した「重点分野ガイド」は、ダウンロードしてご覧いただけるほか、印刷版をご注文いただくことも可能です。

ロータリーリーダー (Rotary Leader)

パッケージ・グラントの魅力
戦略パートナーとの協力で、新しい活動の可能性を発見しよう

予算が足りない、または、「下ごしらえをせずにミックス粉でケーキを焼くような」プロジェクトを探している…。そのようなクラブには、ロータリー財団のパッケージ・グラントを利用することをお勧めします。

パッケージ・グラントでは、プロジェクトの大枠が既に定められているため、参加するクラブや地区は、自分たちの持つ知識やスキルを生かして、地域社会のニーズと受益者の特定、プロジェクトの広報、知識の共有、実施の監督、成果の測定などに集中することができます。さらに、コストは全額、ロータリー財団と戦略パートナーがまかさないです。選ばれたこれらの戦略パートナーはいずれも、ロータリーの重点分野における知識や経験が豊かな組織です。

地区は、パッケージ・グラントを通じて、戦略パートナーとの協力の下、プロジェクトに取り組みます。これらのプロジェクトには、アフリカでの看護師の養成、アフリカの医療改善のための職業研修チームへの参加、発展途上国の女性起業家の養成などがあります。

以下に当てはまる場合は、パッケージ・グラントが適しています。

- ・ 規模の大きい人道的プロジェクト、奨学金プログラム、職業研修チーム(VTT)への参加に興味があるが、プロジェクトを計画した経験がほとんどない
- ・ 資金があまりない
- ・ 重点分野に取り組む活動に参加したいが、どこから始めればよいのか分からない
- ・ 世界的に認められた国際的組織と協力したいが、そのような団体とのつながりがない
- ・ プロジェクトを持続可能なものとする方法が分からない(パッケージ・グラントには、既に持続可能性の要素が盛り込まれています)

パッケージ・グラントと申請方法に関する詳細は、www.rotary.org/ja/grantsをご参照ください。補助金の支払いを迅速に受けるためのヒントもあります。



ロータリーの戦略パートナーの一つ、オイクレジットとのパッケージ・グラントのため、地元の女性たちを対象にニーズ調査を行うマニラ・サークル・ロータリー・クラブ(フィリピン)の会員たち。詳細はこちらをお読みください。写真提供:Rolly Pagaspas

ハウツーの紹介

プロジェクトを生き生きと伝える方法

プロジェクトを効果的に説明することで、人々の関心を集め、行動と参加を促すことができます。ロータリーのウェビナー「Share Your Impact! Best Practices in Telling Your Service Story (成果を伝えよう: 奉仕活動を説明するベスト・プラクティス)」より、地区やクラブの奉仕プロジェクトを効果的に表現するためのヒントをご紹介します。



人間味を持たせる

第一人称(私、私たち)を使ってプロジェクトを説明し、読み手に直接語りかけるようにします。また、ボランティアや支援を受けた人々の言葉を引用し、人間的な側面を伝えるよう心がけます。



課題を明らかにする

プロジェクトを通じて解決を目指す課題や問題(きれいな水の不足、保健問題、貧困問題など)を、基本情報や統計を交えて説明します。



解決策を提示する

問題を解決するために、クラブや地区が何をを行うのかを説明します(机の設置、医療従事者の研修、読書プログラムなど)。ここでは、ロータリアンや地元の人々が活動する様子を写した写真を含めて、活動を生き生きと描写します。



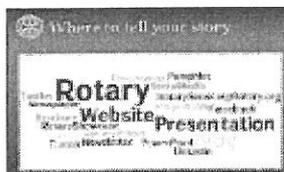
成果を説明する

“ハッピーエンド”はいつでも歓迎されるものです。活動によって地域社会に何がもたらされるのかを説明しましょう。ここでも人間味のある要素に焦点を置きます。また、プロジェクトを通じて、ロータリアンであることを誇りに思ったエピソードも盛り込むと効果的です。



ストーリーを紹介する

ソーシャルメディア、クラブや地区のウェブサイト、ロータリー・ショーケースなど、さまざまな媒体を活用して多くの人にストーリーを伝えましょう。



活動について効果的に伝える方法、写真やビデオの活用法の詳細は、ウェビナー「SHARE YOUR IMPACT!」(英語)をご覧ください。